

実務修習希望地調査書 記載例

の氏名は、戸籍等に基づいて正確に記載してください。は旧姓（戸籍上の旧氏名）の使用を希望する場合、又は日本国籍を有しない方で通称の使用を希望する場合に、該当者のみが記載してください。

1 1月27日までに氏名を変更した場合は、変更事項を記載した適宜の書面（必ず署名・押印すること。）及び変更事項を証明する書面として「戸籍抄本」又は「住民票の写し」（いずれも、認証のあるもの。司法研修所に提出する分については、写しで構わない。）を司法研修所事務局企画第二課調査係に速やかに提出してください。

なお、別途最高裁判所への届出も必要です。

～ の記載漏れがないように気を付けてください。

の出身法科大学院等について、予備試験合格者は「予備試験」と記載してください。また、旧司法試験等の合格者は、「旧司法試験」と記載してください。

希望順位の1～4は、1群から3群の全ての修習地の中から希望する修習地を選んで記載してください。

希望地の記載がない場合は「一任」として、途中順位までの記載しかない場合には「以下一任」として取り扱います。

1群の修習地(この中から選択するのは2箇所まで)

東京、立川、横浜、さいたま、千葉、宇都宮、静岡、甲府、大阪、京都、神戸、大津、名古屋、福岡、仙台、札幌

2群の修習地

水戸、前橋、長野、新潟、奈良、和歌山、津、岐阜、金沢、広島、岡山、熊本、那覇、福島、高松

希望順位の5・6は、必ず3群の修習地から選んで記載してください。

3群の修習地

福井、富山、山口、鳥取、松江、佐賀、長崎、大分、鹿児島、宮崎、山形、盛岡、秋田、青森、函館、旭川、釧路、徳島、高知、松山

過去5年間（平成25年から平成30年まで）勤務した庁名を記載するとともに在籍していた期間も記載してください。（記載例参照）

欄に記載する「親族等」とは、配偶者（内縁の配偶者及び婚約者も含む。）、父母（養父母含む。）、兄弟姉妹、祖父母、伯父・伯母（叔父・叔母）、甥姪をいいます。

婚約者については、修習終了までに婚姻する予定かどうかを問わず、該当する場合には記載してください。

親族等が公証人、司法書士、調停委員、司法委員及び参与員である場合には、記載は不要です。

親族等が現職の裁判官・検察官・弁護士又は司法修習生（採用選考申込者を除く。）である場合には、必ず司法修習の期を記載してください。親族等が司法修習生である場合には、当該修習生の実務修習地も必ず記載してください。

親族等が裁判所・検察庁の職員である場合には、勤務する裁判所・検察庁の庁名及び役職を記載してください（例：東京地方裁判所裁判所書記官、東京地方検察庁主任捜査官）。

実務修習希望地調査書 (平成30年9月11日現在)				整理番号	
				6 3 0 4 2 4	
生年月日を数字化したものを記載すること。 (例：昭和61.1.1生→610101 平成3.2.1生→030201)					
ふりがな 氏名 甲 野 太 郎		旧姓又は通称 (旧姓又は通称の使用を希望する場合に記載) (身上報告書への記載も忘れないこと)		健康状態等 良好	
昭和63年 4月 24日生 平成30年11月27日現在 30歳		性別 男 女			
現住所 郵便番号(×××-××××) 東京都千代田区霞が関1-1-4 第一マンション331号					
自宅電話 (03-×××-××××) 携帯電話 (090-××××-××××) 電子メールアドレス ×××××@××××.××.××					
志望(いずれか1つ選択し、複数を選択しないこと。) □裁判官 □検察官 □弁護士 □未定 □その他()					
出身大学 ○○大学		法学部出身の有無 有 無		出身法科大学院等 ○○大学法科大学院	
		既修・未修の別 □既修 □未修			
希望順位 希望地 理由					
理由コードに該当する具体的事情					
1	さいたま	1	婚約者(氏名は に記入)があり、本年12月10日に婚姻する予定であり、同日以降、相手方住所で同居予定である。		
2	東京	3	現在同居中の祖母が身体障害者(1級、介護認定・要介護5)で、母、私で入浴・食事等の介護を行っており、私がいなくて介護に支障が生じるため、現住所地から通える地を希望する。		
3	岐阜				
4	岡山				
5	鳥取				
6	松江				
理由		1 配偶者(内縁の配偶者・修習終了までに婚姻する予定の婚約者を含む。）・子との同居希望 2 病気・通院 3 親族の介護 4 経済的事情 5 その他 希望理由のない場合、理由コード等は記載不要			
裁判所・検察庁職員である場合又は過去に職員であった場合の過去5年間の勤務地 ○○地方裁判所(平成24年4月1日～平成26年3月31日)					
現職の裁判官・検察官・弁護士又は司法修習生(採用選考申込者を含む。)若しくは裁判所・検察庁の職員である親族等					
続柄	氏名	勤務所又は弁護士会名	司法修習期	(係属裁判所)	
伯父	司法 二郎	○○弁護士会	○○期	○○地方 裁判所 支部	
婚約者	和泉ひかり	司法修習生(さいたま修習)	7 1期	(当事者名(続柄))	
姉	丙川 優子	採用選考申込者		甲野一郎(実父)	
家族及び の具体的事情に記載した親族等(実務修習地に同伴する家族には「同伴」欄に○をすること。)					
氏名	年齢	続柄	職業	同伴	現住所
甲野 一郎	62	父	会社員		埼玉県和光市南二丁目3番8号
花子	60	母	主婦		同上
次郎	21	弟	大学生		東京都千代田区霞が関1-1-4-331 123 Abc Street Xyz City MJ 01930 USA
丙川 優子	35	姉	採用選考申込者		
和泉 ひかり	27	婚約者	司法修習生		埼玉県○○市○○四丁目2番
備考					

該当する□にレを付する。

司法研修所 〒351-0194 埼玉県和光市南二丁目3番8号
電話 048-460-2045 (事務局企画第二課調査係)

生年月日を元に整理番号を記載してください。

例：昭和63年4月24日生まれの場合は『630424』
平成元年2月10日生まれの場合は『010210』

特筆すべきことがなければ『良好』又は『問題なし』と記載し、治療継続中の病気や既往症・身体上の障害等がある場合には具体的な病名等を記載してください。

記載する住所は、修習開始前までの郵便物(修習地の予定通知、組・番号・修習班の通知、教材等の発送等)の送付先の住所となりますので、11月27日までに住所変更等が生じた場合は、変更事項を記載した適宜の書面(必ず署名・押印すること。修習地決定後は、修習地も記載する。)を司法研修所事務局企画第二課調査係に速やかに提出してください。

なお、住所変更等が生じた場合には、別途最高裁判所への届出も必要です。

【具体的事情の記載内容について】

○ 配偶者等との同居希望の場合

例 「現在、民間企業に勤務している妻及び○歳の子と同居して生活しているところ、今後も同居を継続するため、現住所地から通える地を希望する。」

婚約者については、修習開始前から修習終了までの間に具体的に婚姻(入籍)の予定がある場合は、その時期についても記載してください(記載例参照。婚約者の氏名は、欄にも必ず記載すること。)。

○ 病気等の場合

例 「○○病に罹患しており、現在月1回 病院(□□県●●市)に通院して高度に専門性を有する治療を受けており、今後もその治療を継続する必要があるため、現住所地から通える地を希望する。」

具体的な病名、通院先の病院名(所在地)及び現在の状況についても記載してください。

○ 親族の介護の場合

介護を必要とする方及びその現在の状況、介護の態勢について具体的に記載してください。(記載例参照)

○ 経済的事情の場合

例 「法科大学院在学中の奨学金の返済額が1か月●万円(総額●●●万円)となっているので、現住所(自宅)から通える地を希望する。」

1つの希望地の欄に複数の理由コード、事情を併記しても構いません。事情の記載欄が足りない場合は、の備考欄を使用してください。

本人、配偶者(内縁の配偶者及び婚約者も含む。)、近親者、友人・知人等を当事者とする訴訟、調停等の係属(係属見込みの場合を含む。)がある場合は、係属裁判所及び当事者名(続柄)を記載してください。提出した後に、上記事情(係属見込みの場合も含む。)が生じた場合には、速やかに司法研修所事務局企画第二課調査係に連絡してください。

家族(配偶者(内縁の配偶者及び修習終了までに婚姻する予定の婚約者を含む。)、子、親及び兄弟姉妹)のほか、の具体的事情欄に記載した親族等の氏名・年齢・続柄・職業・現住所を記載してください。

記載に当たっては、9月11日現在(年齢については、11月27日現在)で記載してください。

各欄に記載しきれない場合には、この欄を利用してください。

実務修習希望地調査書

(平成30年9月11日現在)

整 理 番 号

生年月日を数字化したものを記載すること。(例：昭61.1.1生→610101)
平3.2.1生→030201)

ふりがな 氏 名		☐ 男	旧姓又は通称 (旧姓又は通称の使用を希望する場合に記載) (身上報告書への記載も忘れないこと。)	健康状態等
昭和 平成	年 月 日生	☐ 女		
(平成30年11月27日現在 歳)				

現住所 郵便番号 (-) 郵便物の送付先としても使用するのて正確に記載すること。

自宅電話 (- -) 携帯電話 (- -)

電子メールアドレス @

志望(いずれか1つ選択し、複数を選択しないこと。)

☐ 裁判官 ☐ 検察官 ☐ 弁護士 ☐ 未 定 ☐ その他 ()

出身大学	法学部出身の有無 ☐ 有 ☐ 無	出身法科大学院等	既修・未修の別 ☐ 既修 ☐ 未修
------	---	----------	--

実務修習希望地	希望順位	希望地	理由コード	理由コードに該当する具体的事情
	1	1群は2箇所まで記載可		
	2	1群は2箇所まで記載可		
	3	1群は2箇所まで記載可		
	4	1群は2箇所まで記載可		
	5	3群から記載		
	6	3群から記載		
理 由 コード		1 配偶者(内縁の配偶者・修習終了までに婚姻する予定の婚約者を含む。)・子との同居希望 2 病気・通院 3 親族の介護 4 経済的事情 5 その他 希望理由のない場合、理由コード等は記載不要		

裁判所・検察庁職員である場合又は過去に職員であった場合の過去5年間の勤務地

現職の裁判官・検察官・弁護士又は司法修習生(採用選考申込者を含む。)若しくは裁判所・検察庁の職員である親族等				本人、親族、友人・知人等を当事者とする訴訟等の係属(見込地を含む。)
続柄	氏名	勤務庁又は弁護士会名	司法修習期	(係属裁判所) 裁判所 支部 (当事者名(続柄))

家族及び の具体的事情に記載した親族等(実務修習地に同伴する家族には「同伴」欄に○をすること。)

氏名	年齢	続柄	職業	同伴	現 住 所

備考

該当する□にレを付する。

司法研修所 〒351-0194 埼玉県和光市南二丁目3番8号
電話 048-460-2045 (事務局企画第二課調査係)

記載例

極 秘

写真貼付

写真の裏面に氏名を油性ボールペンで必ず記載する(5枚全て)

点線の枠にかからないように決められた大きさ(4cm×3cm)の写真を貼付する。

身 上 報 告 書

72

(平成30年9月11日現在)

旧姓又は通称の使用を希望する場合に記載
実務修習希望地調査書への記載も忘れないこと。

ふりがな 氏 名	こうの 甲野	たろう 太郎	ふりがな 旧姓又は 通称	希望者のみ記載	組・番号												
生年月日 年 齢	昭和 平成 満30歳(平成30年11月27日現在)			性別 男	実務修習地												
現 住 所	東京都千代田区霞が関1-1-4 第一マンション331号				本 籍 東京都												
電話 携帯電話	03(××××)×××× 090(××××)×××× e-mail ××××@××××.××.××																
経 歴	<table><tr><td>学 歴</td><td>職 歴</td></tr><tr><td>昭和・平成19年3月 東京都立〇〇高校卒業</td><td>平成23年4月 アルバイト(家庭教師)</td></tr><tr><td>平成19年4月 〇〇大学法学部法律学科入学</td><td>～平成24年3月</td></tr><tr><td>平成23年3月 同大学同学部同学科卒業</td><td>平成24年4月 〇〇地方裁判所入所</td></tr><tr><td>平成27年4月 〇〇大学法科大学院入学</td><td>平成27年3月 〇〇地方裁判所退職</td></tr><tr><td>平成30年3月 同法科大学院修了</td><td></td></tr></table> 書ききれない事項は、備考欄に記載する。 記載の対象となる職歴は、6か月以上であることとする。 書ききれない事項は、備考欄に記載する。 ① 法科大学院の既修・未修コースの別(既修・未修) ② その他(1でない場合に記載する。例:予備試験,旧司法試験など) 司法試験合格年月日 平成30年9月11日					学 歴	職 歴	昭和・平成19年3月 東京都立〇〇高校卒業	平成23年4月 アルバイト(家庭教師)	平成19年4月 〇〇大学法学部法律学科入学	～平成24年3月	平成23年3月 同大学同学部同学科卒業	平成24年4月 〇〇地方裁判所入所	平成27年4月 〇〇大学法科大学院入学	平成27年3月 〇〇地方裁判所退職	平成30年3月 同法科大学院修了	
学 歴	職 歴																
昭和・平成19年3月 東京都立〇〇高校卒業	平成23年4月 アルバイト(家庭教師)																
平成19年4月 〇〇大学法学部法律学科入学	～平成24年3月																
平成23年3月 同大学同学部同学科卒業	平成24年4月 〇〇地方裁判所入所																
平成27年4月 〇〇大学法科大学院入学	平成27年3月 〇〇地方裁判所退職																
平成30年3月 同法科大学院修了																	
現在の健康状態等	良好		過去の病歴	胃潰瘍(平成20年)													
自己の性格 及び 気 質	なるべく詳しく書くこと																
趣味・嗜好 (たばこを除く)	旅行, スポーツ観戦, 日本酒		資格及び 技能等	普通自動車免許, 行政書士(登録無)													
たばこ	吸う・吸わない		志望	裁・検 弁 未定・その他(その他の場合はその職業を記載する。)													
家 族 関 係	氏 名	年齢	続柄	扶 養 関 係	職 業	現 住 所											
	甲野 一郎	62	父		会社員	埼玉県和光市南2-3-8											
	花子	60	母		主婦	"											
	次郎	21	弟		大学生	東京都千代田区霞が関1-1-4-331											
	丙川 優子	35	姉		採用選考 申込者	123 Abc Street Xyz City 以下備考欄											
	配偶者, 子, 親, 兄弟姉妹を記載し, 「扶養関係」は本人が扶養している家族を○印で表示する。																
	年齢は, 平成30年11月27日現在で記載する。																
備 考	MJ 01930 USA 上記事項のうち書ききれない 事項は, この欄に記載する。																

1部コピーを取る場合でも,
2部とも写真を貼付する。

この身上報告書は、司法研修所が司法修習に関する事務(裁判所法14条)のために使用するほか、高等・地方裁判所、高等・地方検察庁、弁護士会における実務修習(選択型実務修習を含む。)及び実務修習中の監督に関する事務(司法修習生に関する規則7, 8条)のために使用する。

極 秘

身 上 報 告 書

72

(平成30年9月11日現在)

写真貼付
写真の裏面に氏名
を油性ボールペンで
必ず記載する(5枚全
て)
点線の枠にかから
ないように決められ
た大きさ(4cm×3cm)
の写真を貼付する。

ふりがな 氏 名		ふりがな 旧姓又は 通称		・希望者のみ記載		組・番号	
生年月日 年 月 日 齢		昭和 年 月 日生 平成 満 歳(平成30年11月27日現在)				性別	
現 住 所		電話 () 携帯電話 () e-mail @				本 籍	
経 歴		学 歴 昭和・平成 年 月				職 歴	
		1 法科大学院の既修・未修コースの別(既修・未修) 2 その他()				司法試験合格年月日 平成 年 月 日	
現在の健康状態等				過去の病歴			
自己の性格 及び気質							
趣味・嗜好 (たばこを除く)				資格及び 技 能 等			
たばこ		吸う・吸わない		志望		裁・検・弁・未定・その他()	
家 族 関 係	氏 名	年齢	続柄	扶養 関係	職 業	現 住 所	
備 考							

この身上報告書は、司法研修所が司法修習に関する事務(裁判所法14条)のために使用するほか、高等・地方裁判所、高等・地方検察庁、弁護士会における実務修習(選択型実務修習を含む。)及び実務修習中の監督に関する事務(司法修習生に関する規則7、8条)のために使用する。

極 秘

身 上 報 告 書

72

(平成30年9月11日現在)

写真貼付
写真の裏面に氏名
を油性ボールペンで
必ず記載する(5枚全
て)
点線の枠にかから
ないように決められ
た大きさ(4cm×3cm)
の写真を貼付する。

ふりがな 氏 名		ふりがな 旧姓又は 通称		・希望者のみ記載		組・番号	
生年月日 年 月 日 齢		昭和 平成 満 歳(平成30年11月27日現在)				性 別	実務修習地
現 住 所	電話 携帯電話 () () e-mail @					本 籍	
経 歴	学 歴 昭和・平成 年 月				職 歴		
	1 法科大学院の既修・未修コースの別(既修・未修) 2 その他()				司法試験合格年月日 平成 年 月 日		
現在の健康状態等				過去の病歴			
自己の性格 及び気質							
趣味・嗜好 (たばこを除く)				資格及び 技 能 等			
たばこ	吸う・吸わない	志望	裁・検・弁・未定・その他()				
家 族 関 係	氏 名	年齢	続柄	扶養 関係	職 業	現 住 所	
備 考							

この身上報告書は、司法研修所が司法修習に関する事務(裁判所法14条)のために使用するほか、高等・地方裁判所、高等・地方検察庁、弁護士会における実務修習(選択型実務修習を含む。)及び実務修習中の監督に関する事務(司法修習生に関する規則7、8条)のために使用する。

司法研修所長 殿

平成30年度司法修習生採用選考申込者

ふ り が な
氏 名 印
昭和・平成 年 月 日生 (歳) 男・女

入 寮 許 可 願

私の住居の状況等は下記のとおりであり、導入修習期間中に合宿舎へ入寮したいので、許可してください。

入寮中は、司法研修所司法修習生在寮準則等を厳守します。

記

1 現在の住所（必ず記載する。）

〒 - 住 所
電話番号 (- -)
携帯電話 (- -)

2 1以外の自宅（実家を含む。）等の住所（複数ある場合はいずれも記載し、三つ以上ある場合には、下の余白に(3)、(4)などと符号を付した上で記載する。）

(1) 〒 - 住 所
電話番号 (- -)
(2) 〒 - 住 所
電話番号 (- -)

3 1及び2に記載の住所のうち、司法研修所までの所要時間が最短のもの（当該住所が、東京都、神奈川県、埼玉県又は千葉県内にある場合のみ記載すれば足りる。）

☐ 1の住所 ☐ 2(1)の住所 ☐ 2(2)の住所 (☐ 2の(1)(2)以外→)

4 3でチェックを付した住所の最寄り駅等

(1) 最寄り駅 線 駅
(2) 最寄り駅からの所要時間 時間 分
(到着駅) ☐ 和光市駅 ☐ 大泉学園駅

(3) 最寄り駅までの移動手段と所要時間

☐ 徒歩 分 ☐ バス 分 (乗車停留所名)

5 3でチェックを付した住所から司法研修所に通所できない場合は、その理由（できる限り詳しく記載する。）並びに3でチェックを付さなかった住所の利用の可否及び司法研修所までの所要時間

6 ☐ 実務修習地が東京、立川、さいたまのいずれかとなった場合、入寮申込みを取り下げます。7 喫煙の有無 ☐ 有（電子器具含む。） ☐ 無

9月18日（火）締切（同日消印有効）（簡易書留郵便のみ可）

〒 3 5 1 — 0 1 9 4

埼玉県和光市南

二丁目3番8号

司法研修所 行

(事務局企画第二課調査係)

実務修習希望地調査書・身上報告書 在中

簡易書留

(適宜の封筒の表面に貼付可)

		整理番号					
差 出 人	住所	〒 -					
	氏名						

同封書類を確認の上，
○をつけてください。

	写 真 3 枚
	身 上 報 告 書 2 部
	実務修習希望地調査書

入寮許可願は同封しないこと。

(差出人欄として適宜の封筒の裏面に貼付して使用可)

写真用封筒

裏面に氏名を記入してある
4 cm × 3 cm の写真 3 枚を , 写
真裏面に記入した氏名のイン
クで写真の表面が汚れないよ
うにして , 封緘してください。

記入してください。

整 理 番 号

--	--	--	--	--	--

氏 名

生年月日が昭和 6 3 年 4 月 2 4 日

→ 整理番号 6 3 0 4 2 4

生年月日が平成元年 2 月 1 0 日

→ 整理番号 0 1 0 2 1 0

(適宜の封筒に貼付し , 写真用封筒を作成する)

〒351-0194

埼玉県和光市南二丁目 3 番 8 号

司法研修所（いずみ寮）

事務局総務課寮務係 行

入寮許可願 在中

簡易書留

（長形 3 号封筒の表面に貼付可）